



2013年9月9日

『会員卓話』



『私の履歴書』～人生70才からが面白い!

門田真乍子 会員

日本人の平均寿命88歳として 今78才。あと1年1ヶ月で80才になります。人生 富士山に例えると9合目。さあこれからどう生きようかしら。

1合目・2合目

戦争 終戦 戦後、食糧難も加わって、第三者から見れば悲惨な生活だったようですが、思い出は楽しいことばかり。生来のプラス思考なのかも知れません。

3合目・4合目

仕事 結婚 出産 育児、人生のすべてを人に恩くす日々。夫の仕事をサポートして、仕事に全力投球。

5合目・6合目・7合目

50才で色彩に出会い、会社を設立。アカデミーで人材の育成、1300人の卒業生を送り出し、日本色彩学会などの学会に所属して、24本の研究論文を書くなど、充実した仕事人生。この頃より海外旅行に出掛け、夫と共に100カ国以上旅した。

8合目

70才で社交ダンスに出会いました。

9合目

今、9合目に立っています。人生の『華』でしょうか。ここまで登ると、人生の頂点が見えてきて、ルートも読めます。多少酸素が薄く息は上がつても、天気の良い日は眺めも最高です。人の優しさが心にしみるようになりました。



人生70才からが面白い

- ・50才でのカラーとの出会いは読売新聞の記事
- ・70才でダンスに出会う
- ダンスの効用
 - ①自然に歩いてしまう、②姿勢が良くなる、③音楽とスポーツが同時に出来る、④スキンシップで、人間の優しさを感じる。
- ・よく娘に言われます。ダンスって素晴らしい

『私の業界』

柏原玲子 会員

人材ビジネスを手掛けていて、もっとも悩むのはどのようにスタッフを教育するかということ。とくに、若い人の価値観、認識、思考回路は私達のような世代とは大きくかけ離れており、とまどうばかりです。

たとえば挨拶の仕方、上司との関係、連絡や報告、受け答えの仕方など、基本的なことのどれをとっても世代間で大きなギャップがあることに愕然とします。相手の顔を見て挨拶するのではなく、メールやLINEなどで挨拶すれば、顔を見て挨拶する必要はない。そんな考え方もあるようです。

一方で、私達の側として、従来のような教育方法でいいのかという反省もあります。たとえば、ハワイ沖での愛媛丸の事故、手術後のガーゼの取り忘れなどのケースがよく例に挙げられます。ひと

つのことに集中していたり、こんなことはあり得ないといった強い先入観に支配されていたりすると、實際には視野に入っているながら見えていなかつたりして大きな事故につながつたりするのです。さらに親に叱られた経験がなく、なんでもかんでも細かいことにまで出てくる親。

こうしたさまざまことを考慮して、新しい教育のあり方をどう樹立すべきか。毎日、懸命に模索しています。

